

## 西小倉地域における小中一貫校の整備に向けた検討状況について

### 1. これまでの検討状況

西小倉地域小中一貫校整備検討委員会

(学校部会：小中一貫校の学校施設整備等に関することを協議)

- 第1回学校部会 1月26日(水)
- 第2回学校部会 2月14日(月)
- 第3回学校部会 3月9日(水)
- 第4回学校部会 4月8日(金)

計4回の学校部会において小中一貫校に必要な機能や校舎の配置等についての意見交換を行い、(仮称)西小倉地域小中一貫校基本計画素案を作成

### 2. (仮称)西小倉地域小中一貫校基本計画素案について 別紙

### 3. 今後の予定

- ・西小倉地域小中一貫校整備検討委員会において、基本計画素案について意見聴取
- ・西小倉地域の保護者を対象に、基本計画素案について意見聴取
- ・意見・要望を踏まえ、教育委員会として基本計画を策定

### 1. 子どもたちが光り輝く小中一貫教育を推進する学校

- 子どもたちの発達段階に応じた9年間を見通した系統性、連続性のある多様な教育活動を効果的に行える施設
  - ・ 学年単位のつながりを深める学年ユニット
  - ・ 発達段階に対応したフロアゾーニング
- 多様な異学年交流ができ、9学年のつながりとふれあいで、互いに成長できる施設
  - ・ 多様な仲間との一体感を高める動線計画
  - ・ 異学年との学び合い・交流を広げるスペースの確保
- 主体的な活動の支援や豊かな創造性を引き出すなど主体的な学びを実現する、認知能力と非認知能力を一体的に育む教育が行える空間や施設
  - ・ 自然を感じ、仲間とつながるスペースの確保
  - ・ 中庭を活かした開放的な交流・学びの場
- 小・中学校教職員が協働して一つの学校として機能し、学校運営の一貫性を確保できる施設
  - ・ 職員室などの管理機能を集約配置
  - ・ 職員同士の連携・子どもたちとの交流を育むスペースの確保

### 2. 多機能で変化に対応し、多様な教育課題に対応できる学校

- 機能性や柔軟性、可変性を持つことにより、随時変化する多様な教育内容や教育方法に対応できる施設
  - ・ 対話型授業にも対応できる、教室の機能性の確保
  - ・ 多目的な活動が展開しやすいスペースの確保
- 学校施設全体が柔軟で創造的な学びを実現できる空間であり、どこでも教育の場、表現・交流する場、心のゆとりと豊かさを育む場となる施設
  - ・ 多様な交流が行えるスペースの配置
  - ・ 校舎全体に光と風が行きわたり、自然を感じることができる環境づくり
- ウィズコロナ・ポストコロナ時代において、すべての子どもたちに学びを保障する、新しい時代の学びを支える教育環境を提供できる施設
  - ・ GIGAスクール構想、ICT教育など、新しい学びに対応できる教室環境の確保
- 教育活動に必要な機能を確保しつつ、イニシャルコスト・維持管理コストの縮減を図り、長寿命化にも配慮した施設
  - ・ 構造の合理化等によるイニシャルコスト・維持管理コストの縮減
  - ・ 清掃・修繕しやすく長寿命化に配慮した計画

### 3. 安全・安心で、利用しやすく、子どもたちが楽しく通える学校

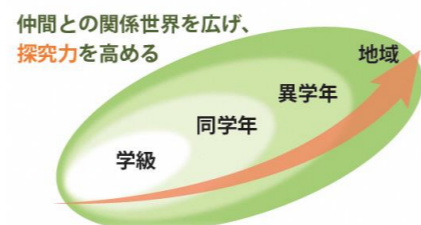
- 多様な発達段階の子どもたちが、のびのびと活動できる快適性と安全性を備えた空間や施設（工事期間中の安全確保も含む）
  - ・ 成長段階に応じた屋外活動スペース（メイングラウンド・サブグラウンド）
  - ・ 児童生徒の安全に配慮した工事計画
- 学校生活の中で、集中とやすらぎの調和がとれた施設
  - ・ 自然素材を活用し、温もりのある、心を落ち着かせる学習環境
  - ・ 採光・通風を確保し、明るく快適な環境づくり
- ウィズコロナ・ポストコロナ時代における新しい生活様式や、防犯面、ユニバーサルデザインに配慮し、利用する誰もが安全安心に過ごせる施設
  - ・ 施設中央に中庭を設け、教室や共用部に風が通り抜けやすい屋内環境の確保
  - ・ 見守りやすく、管理しやすいセキュリティ計画（門・昇降口・グラウンドを視認しやすい職員室配置）

### 4. 家庭・学校・地域が連携・協働し、互いの安心と信頼が生まれる、地域のシンボルとなる学校

- 学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）と地域学校協働活動を一体的に推進し、地域の教育力を積極的に活用した教育活動ができる施設
- 子どもたちの学びを地域ぐるみで支えることができる施設
  - ・ 地域開放機能の配置
  - ・ 地域の多様なイベントを開催できるスペースの確保
- 自然エネルギーの効果的利用などにより、持続可能な教育環境の実現に配慮した地域のシンボルとなる施設
  - ・ 自然採光・通風による、空調・照明負荷の低減
  - ・ 費用対効果の高い設備機器、環境技術の採用
- 地域防災や地域コミュニティの活性化の役割が担える地域の核となる施設
  - ・ 避難所等の防災機能の確保
  - ・ 避難所エリアと学校運営エリアのゾーニング

### 「同学年から異学年、地域へと関係世界を広げ、探究力を高める学び舎」

学級の枠を超えて、同学年から異学年、地域へと関係世界を広げ、好奇心や興味関心、探究力を高める学び場



- ・ 学年単位でまとまりのある教室ユニット
- ・ 異学年との出会いを広げるスペースの確保
- ・ 地域とつながるスペースの確保

	A案	B案
<p>模型写真</p>		
<p>配置図</p>		
<p>特徴</p>	<p>＜異学年の一体感を育む回廊型案＞</p> <p>回遊性のある動線により異学年の一体感・交流を促進する空間構成</p>	<p>＜校舎棟を南側に配置した従来型案＞</p> <p>校舎棟を南側に一列に配置した視認性の高い従来型の空間構成</p>



## 西小倉地域小中一貫校整備の基本コンセプト

### 1. 子どもたちが光り輝く小中一貫教育を推進する学校

- 子どもたちの発達段階に応じた9年間を見通した系統性、連続性のある多様な教育活動を効果的に行える施設
- 多様な異学年交流ができ、9学年のつながりとふれあいで、互いに成長できる施設
- 主体的な活動の支援や豊かな創造性を引き出すなど主体的な学びを実現する、認知能力と非認知能力を一体的に育む教育が行える空間や施設
- 小・中学校教職員が協働して一つの学校として機能し、学校運営の一貫性を確保できる施設

### 2. 多機能で変化に対応し、多様な教育課題に対応できる学校

- 機能性や柔軟性、可変性を持つことにより、随時変化する多様な教育内容や教育方法に対応できる施設
- 学校施設全体が柔軟で創造的な学びを実現できる空間であり、どこでも教育の場、表現・交流する場、心のゆとりと豊かさを育む場となる施設
- ウィズコロナ・ポストコロナ時代において、すべての子どもたちに学びを保障する、新しい時代の学びを支える教育環境を提供できる施設
- 教育活動に必要な機能を確保しつつ、イニシャルコスト・維持管理コストの縮減を図り、長寿命化にも配慮した施設

### 3. 安全・安心で、利用しやすく、子どもたちが楽しく通える学校

- 多様な発達段階の子どもたちが、のびのびと活動できる快適性と安全性を備えた空間や施設（工事期間中の安全確保も含む）
- 学校生活の中で、集中とやすらぎの調和がとれた施設
- ウィズコロナ・ポストコロナ時代における新しい生活様式や、防犯面、ユニバーサルデザインに配慮し、利用する誰もが安全安心に過ごせる施設

### 4. 家庭・学校・地域が連携・協働し、互いの安心と信頼が生まれる、地域のシンボルとなる学校

- 学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）と地域学校協働活動を一体的に推進し、地域の教育力を積極的に活用した教育活動ができる施設
- 子どもたちの学びを地域ぐるみで支えることができる施設
- 自然エネルギーの効果的利用などにより、持続可能な教育環境の実現に配慮した地域のシンボルとなる施設
- 地域防災や地域コミュニティの活性化の役割が担える地域の核となる施設

# 西小倉地域小中一貫校 整備検討委員会だより

令和4年4月発行  
【第1号】  
発行：西小倉地域小中一貫校  
整備検討委員会事務局

## 小中一貫校整備に向けての取組を開始しました！

### 第1回整備検討委員会を開催

令和4年1月26日（水）午後7時から西小倉コミュニティセンターで、第1回西小倉地域小中一貫校整備検討委員会を開催しました。委員長に山花委員が、副委員長には、西小倉自治連合会会長の岩井委員が選出されました。その後、基本コンセプトの説明、今後の協議の進め方や部会の設置について協議しました。これから子どもたちにとってより良い教育環境を整えていくため、地域、保護者、学校関係者等の皆様のご意見をお聞きしながら西小倉地域の核となる小中一貫校の1日も早い開校を目指していきます。

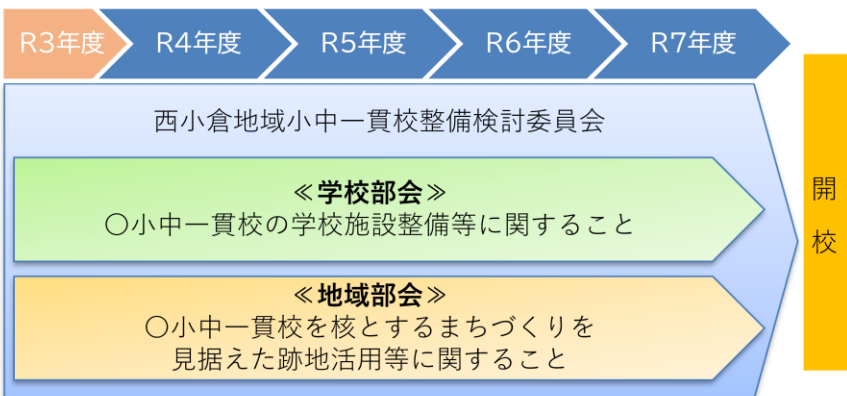
委員構成	
有識者	
西小倉地区コミュニティ推進協議会	
西小倉自治連合会	
体育振興会（小学校ごと）	
宇治市小中一貫教育推進協議会	
学校評議員（学校運営協議会委員） （小・中学校ごと）	
校長（小・中学校ごと）	
PTA（小・中学校ごと）	
まちづくりに関する有識者	

### （仮）西小倉地域小中一貫校整備の基本コンセプト

1. 子どもたちが光り輝く小中一貫教育を推進する学校
2. 多機能で変化に対応し、多様な教育課題に対応できる学校
3. 安全・安心で、利用しやすく、子どもたちが楽しく通える学校
4. 家庭・学校・地域が連携・協働し、互いの安心と信頼が生まれる、地域のシンボルとなる学校



### 部会の設置



今後、小中一貫校の施設整備等に関することは学校部会、各小学校の跡地活用に関することは地域部会で協議していきます。各部会で協議したことは西小倉地域小中一貫校整備検討委員会で報告していきます。

### 【ご意見・お問合せ】

宇治市教育委員会	TEL：0774-20-8772
学校改革推進課	E-mail:gakkokaikaku@city.uji.kyoto.jp